



高齢者の見守り訪問(中野区宮桃町会)



活動内容

帝京平成大学地域連携部では、中野区宮桃町会と連携し、地域高齢者を対象とした見守り訪問活動を実施している。町会理事と薬学生がペアとなり、月1回高齢者宅を訪問し、安否確認に加えて健康状態や生活状況、社会的孤立の有無等を確認している。訪問時には、会話を通じて生活上の困りごとや服薬・食事状況、孤独・孤立の兆候等を把握し、必要に応じて地域包括支援センターや医療・介護機関につなぐことで、地域における支援体制の一端を担っている。

活動実績・成果

本活動により、地域高齢者の生活実態や潜在的な課題を早期に把握し、関係機関との連携を通じて適切な支援につなげる体制づくりに寄与している。また、見守り訪問後には中部すこやかセンターが実施する「みんなの食堂」に参加し、地域関係者間での情報共有や交流を促進した。学生にとっては、地域住民との関わりを通じて高齢者支援の実際や地域包括ケアシステムにおける多職種・住民連携の重要性を実践的に学ぶ貴重な機会となっている。今後は、高齢者向け啓発チラシの作成・配布を行い、継続的な意識啓発と支援へのつながりの強化を図る予定である。

事業連携先

東京都中野区
宮桃町会

関連リンク: